

設 立 趣 旨 書

本会は、日本各地の研究者や教師、市民の力によって、理科カリキュラムに関する自主的な研究開発や提案が活性化し、そして理科教育全体が発展することを願って、2000年12月に発足した。

現在の学習指導要領に基づく理科カリキュラムは、次の時代を担う子どもたちが学ぶべき科学の基礎・基本としてあまりにも不十分であり、学力低下への懸念が広がっている。また、子どもたちが意欲的に学習する上でも多くの問題が指摘されている。現在、理科教育は、戦後の日本でもこれまでになく危機的かつ膠着した状況である。

本会は、この危機的かつ膠着した状況に対して、「日本の教師たちが積み上げてきた優れた実績を集め、共有できるようにし、草の根のカリキュラムづくりを進めれば、それは世界の科学教育に大きく貢献するものになる。また日本の将来のカリキュラムの変更に実際的な影響を与えるものになるだろう。」と考える。

本会は以下のような目的を持つ。

- 1 日本の教育現場で行われてきたさまざまな民間教育研究の成果を基にした多様な理科カリキュラムの開発を促進し、各地の開発グループの活動をサポートするためのネットワークを構築する。
- 2 世界の多くの国々で実施されている優れた理科カリキュラムを研究する。また、その成果を広く知らせて検討する場を設けることにより、日本の多様なカリキュラム開発への一助とする。
- 3 理科カリキュラム開発の多様な成果を各地域で広く実践・検証するために、学習指導要領の拘束力をなくし、教科書検定の規制を大幅に緩和させる。また、このことを通じて、教育の地方分権を促進する。
- 4 子どもが学習意欲をもちながら基礎・基本を身につけられる理科教育を実現するため、理科教育と理科カリキュラム開発への社会的資源・資金を獲得する。

本会はこれまで任意で活動してきたが、日本社会において、いっそう広く本会の活動への理解と協力を得て目的を達成するために、「特定非営利活動法人 理科カリキュラムを考える会」を設立する。

2002年 7月 13日 特定非営利活動法人「理科カリキュラムを考える会」
設立に当たって。 発起人一同